

県北地区の操法大会で
第15分団が優勝

10月3日、第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会が、辰ノ口おおみや消防広場で開催されました。

大会はポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部に分かれて行われ、それぞれ8チームが出場し、当市からは8月に開催された市の操法競技大会で優勝した第15分団（緒川地域）と第6分団（山方地域）が出場しました。

（敬称略）

●ポンプ車操法の部 優勝 第15分団●



▲左から桑名秀樹、内田良太、桑名優一、野上友一、内田英徳、角田隆義

善意をありがとう

敬称略

《常陸大宮市へ》



浜ちゃんコンペ 金200,000円

●小型ポンプ操法の部 準優勝 第6分団●



▲左から木村保、猿田誠仁、大高哲也、関幸夫、菊池輝雄

結果は、ポンプ車操法の部で第15分団がみごと優勝。そして第6分団は小型ポンプの部で準優勝を飾りました。

さらに、優秀選手に第6分団指揮者木村保さん、第15分団1番員内田良太さん、3番員野上友一さんが選ばれ表彰を受けました。

オリンピックおじさん来庁

10月16日に緒川運動公園で行われた第2回大宮近郊ジュニアソフトボール大会の前日、同大会に特別ゲストとして招かれた山田直稔氏が教

育長室を訪れました。

山田氏はテレビでおなじみのオリンピックおじさんで、84歳になるとのことですがとてもお元気で、トレードマークの金色の帽子と扇子と共に、笑顔で記念撮影に応じてくださいました。

御前山小学校5年生が稲刈り体験

9月30日、御前山ビオトープ内の水田で、桜山区（國安清区長）主催の「田んぼの学校稲刈り体験」が実施されました。

参加した御前山小学校（栗田将夫校長）の5年生29人は、お米が作られる過程とビオトープの説明を聞いた後、地元の方の指導により鎌を使って稲刈りを行いました。

ぬかった田んぼでの作業は足をとられることが多く、なかなかスムーズに進みませんでしたが、稲刈りからおだかけまでの一連の作業を行いました。



▲山田氏の写真撮影の時の掛け声は「チーズ」ではなく「ラッキー」



クリーン作戦実施

10月24日、常陸大宮市一斉クリーン作戦が、国道・県道・市道で、各地区の環境保全推進委員長を中心に地域住民参加で実施されました。参加者10949人は、小学生から高齢者まで幅広く、地域全体で「まちをきれいにしよう」という意識が高まっていることが伺えます。参加者は、空き缶やペットボトル、紙くず、プラスチック容器などのごみを回収しました。回収したごみは、可燃ごみ3010kg、不燃ごみ2030kg、その他粗大ごみでした。ご協力ありがとうございました。

有害鳥獣捕獲実施

農作物の被害防止対策として、8月22日から9月30日まで有害鳥獣捕獲隊（河西敏夫隊長）48人により、市内全域で有害鳥獣捕獲を実施しました。市では、被害の特に多い春と秋の年2回実施しています。

捕獲結果は下記のとおりです。

地域	種類	イノシシ	ハクビシン	カラス	カルガモ
大宮		11	0	5	4
山方		7	0	8	0
美和		1	0	7	1
緒川		5	3	3	0
御前山		10	3	5	0
合計		34	6	28	5

寄せつけないための環境づくり

イノシシの餌場を作らない!



田畑周辺のやぶ刈りを心掛ける!

いっしょにまちづくり

通訳ボランティアを通して

茨城大学 人文学部
人文コミュニケーション学科3年
石井 里奈さん

9月30日から10月3日まで常陸大宮市を訪問したオーストラリアのハイスクールの生徒と先生方の通訳や、紙すき体験などを茨城大学の学生8人でサポートしました。



英語は好きですが、自分の英語が生徒達に通じるかとても不安でした。

しかし、オーストラリアの生徒や先生達はもちろん、このプログラムに参加した市の中学生の皆さんも気さくだったので、ボランティアということをお忘れのくらい楽しみました。中学生達にとっても非常に刺激的で、よい経験になったと思います。

アメリカ文学のゼミに所属していますが、日本や海外の文化に対する興味がより強くなりました。中学生の皆さんにも、英語や異文化に興味を持ってもらえたらと思います。

※市と茨城大学とは相互に連携協力し「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。

広報常陸大宮・ホームページ
掲載広告募集中!

広報紙 半枠(縦45mm×横 85mm): 9,000円/回
全枠(縦45mm×横175mm): 18,000円/回

* 詳しくはホームページをご覧くださいか、本庁企画課行政改革推進室までお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

知市ってニュース!

このコーナーでは、市民の皆さんからの情報をお待ちしています。写真と原稿をお持ちください。

なお、お寄せいただいた情報は掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

★本庁企画課情報・広報グループ

☎ 52-1111 内線383

FAX 53-6010

✉ kikaku@city.hitachiomiya.lg.jp